商品ＣＭ　「サンゴンの掃除機」。ムラーラミュージックオフィス

（このナレーションはなるべくフラットに、むしろ「棒読みに近いようなイメージで読んでいきます。声のトーンは低めに。商品映像がメインでピックアップされるようなイメージです。」

　スイッチを入れた瞬間に、ゴミの方から引き寄せられるように近づいてくる。

サンゴンが社運を賭けて開発に臨んだこの掃除機。

　まちがっても「この掃除機！」と跳ねるようには読まないようにします。

３本のスクリューブラシが襷状に絡まって出来た「スーパースプラクター」。

このスプラクター製法をサンゴンは特許申請しています。

「しています。」文末まできちんと声を残して読みます。

早い、軽い、なめらか。（変にうねって読みません）３拍子が見事にそろったこの掃除機。価格はオープン価格となっており各大手家電量販店はもとより、通販サイトでも多数お取り扱いが決定。

「決定」。は低い声でしっかり止めます。

　「サンゴンの掃除機」は、日本中のあらゆる掃除機の常識を覆します。